

中国語

第1 高等学校教科担当教員の意見・評価

1 前 文

令和6年度共通テストを以下の3点をよりどころに、また、報告書（本試験）14ページに記載の8つの観点によって、総合的に検討・評価に当たることとする。

- (1) 共通テストは「高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的としている」試験であるという観点に立ち、学習指導要領「外国語」の目標を重視する。

その際、大学教育の基礎力を踏まえ、また、高等学校において英語以外の外国語を初めて履修する者もいることを考慮し、問題作成を行う。

- (2) 教育現場からの「高等学校における学習の成果が総合的・客観的に判断できる出題」となっているかについて、従来からの「基本的要望」が尊重されているかを重視する。

- ・ 細かすぎる難解な語法を問うことはせず、基本的な文法力を問うこと。
- ・ 長文読解は、高校生になじみやすいテーマを選び、内容が抽象的すぎ、論理的に説明が難しいような出題は避けること。
- ・ リスニング試験が実施されないことを補うために、また、中国語学習にとって重要な発音の理解度をみるために、ピンインを重視して出題すること。

- (3) 令和5年度の問題作成部会の見解を参考とすること。

また、本試験と難易度の差が生じないような作成をお願いしたい。

2 内 容・範 囲

第1問 A～Cは発音の基礎を確認する問題であり、Dはピンインで示された会話文の流れを把握し、抜けている会話文を選択する問題である。リスニング問題を補う問題として、中国語学習に不可欠なピンインの知識に加え、コミュニケーションも重視する傾向がある。

第1問 計9問 (計36点)	A	B	C	D
	声母	韻母	声調	ピンインによる会話
	8点(4点×2問)	8点(4点×2問)	8点(4点×2問)	12点(4点×3問)

A 昨年同様、見出し語の下線部の声母（子音）と同じものが選択肢の中に幾つあるかを選ぶ形式であった。提示された語句はみな重要語であり、声母を問う問題として適切である。

問1 “l”と“r”の識別を問う問題。見出し語も選択肢も辞書では重要語であり、適切である。

問2 選択肢の声母には“c”，“zh”，“q”，“ch”の4つがあり巻舌音や有気音・無気音の正確な識別を必要とする良問と言える。

B 韻母（母音）に関する出題である。見出し語も選択肢も重要語である。

問1 “ü”の音の判別であり、ピンイン標記におけるウムラウト記号省略の知識も問われる問題である。ピンインの知識を確認する適切な問題である。

問2 “eng”と“ong”，“en”の判別であり、適切である。

C 二音節語について、見出し語と声調の組合せが同じものの数を問う問題である。

問1 見出し語も選択肢も重要語であり、適切である。

問2 見出し語も選択肢も重要語であり、適切である。

D 会話文と選択肢共にピンインで示してあり、各問の会話文、選択肢共に難解な語句はなく、ピンイン学習を重視する問題作成となっており評価できる。

問1 “zuówǎn nǐ bú shì ba yào dài de dōngxī xiě xiàlái le ma?” という反語の用法と文脈の理解を要する良問である。

問2 “让人～”の表現や暑さが続くという会話文の流れを理解しているか試す適切な問題である。

問3 “méi rén gàosù wǒ”から空欄に入るのは「誰から聞いたのか」を問う質問文であると予想される。文脈理解を問う問題であり、適切である。

第2問 空欄補充の問題で選択肢の適当な語を選ぶ問題。

A 適当なものを選ぶ空欄補充の問題。類義語の知識が要求される。選択肢は重要語である。

問1 “都～了”と反語を組み合わせた文。基本的な学習の有無を問う問題であり、適切である。

問2 “原来”と“后来”，改主意”など基本語彙の用法を試す適切な設問である。

問3 “应该”を使った文の組立てと副詞の位置を考える問題。難解な語句はなく適切である。

B 類義語や語の組合せの適切さを問う問題。「適当でないもの」を選ぶという設問形式は難度が高くなるが、選択肢に難解な語句はない。いずれも重要語である。

問1 「よく寝ている」という文を作るのに“睡”との組合せで適切なものを選ぶ問題。語の用法を問うものとしてはやや難解と思われる。一考を要する。

問2 「借りるのにお金を使わない方がいい」という文に続くものとして、また“吧”の語気と合致する副詞を選ぶ設問。適切な設問と思われる。

問3 『『これは秘密だよ』と彼は私に～～と言った。』に当てはまる副詞句を答えるもの。語彙力を試す適切な問題である。

C 短文の空欄に合う適語を8つの選択肢から選ぶもの。文章の流れと語句の用法の理解が必要となる。**16**は“这几天我一直～，尤其是昨天晚上……”の流れを適切に判断することができる。**17**は際立った事例を取り上げる副詞“甚至”を選ぶ。文章理解や文脈を複合的に考えさせる良問である。

第3問 和文中訳，中文和訳を通して，中国語の表現力，理解力を測る問題である。基礎的な単語で出題されており学習してきた文法事項や語法を活用，応用し，熟考することにより正答できる設問になっている。

A 和文中訳問題で，与えられた8つの単語から4つ選び並び替えるもので，選択肢の語句も重要語の範囲内であり，文法や語句の用法の理解を確認する問題として適切である。

問1 “算”の用法，中国語の基本的な語順を理解していれば解ける適切な問題である。

問2 “不怎么～”の意味用法の理解を確認する設問であり適問と言える。

問3 “把”構文と“离”の用法，連体修飾の作り方を組み合わせた点でやや難解であるが，熟考すれば正答できる。

B 和文中訳の問題で，選択肢の中国語文はピンインで示され，基本的な文型の理解を問う問題である。

問1 “～は～だが”という「形容詞＋是＋形容詞」の意味用法，方向補語の理解を問うもので，良問である。

問2 “二度とこのようなチャンスはないだろう”から“不会再～”を選択できるか，丁寧

に選択肢を読み理解しているかを見る適問である。

C 中文和訳の問題で、問いの文の中国語はピンイン表記である。

問1 “差点儿没～”の理解を問う設問で、選択肢の難易度も含め良問である。

問2 疑問詞の不定用法の理解を見る設問。基本的な語を使った表現であり、適切な設問である。

第4問 本試験とほぼ同様の出題形式で、Aは「会話文・表と文章」、Bの「会話文・留学生の意見と活動報告書」があり、それぞれ複数の言語材料から総合的に判断する融合問題である。

A 高等学校の観光研究会のメンバーがT市の観光について探究する内容が題材となっている。地域探究は高校生にとってもなじみのある題材であり評価できる。

問1 会話文を読み、その内容について適当な日本語文を選択肢から選ぶもので、内容理解の設問としては短時間で要点を押さえているかを試す適切な設問である。

問2 会話から得られた言語的な情報を整理してグラフを読み取る問題。情報を正確に整理してグラフを読み取れば正答できる適切な設問である。

問3 市内の外国語表記について細かく調査した結果をまとめたものから情報をまとめる設問である。語句・文型などは適切なレベルだが、読み取る早さが求められる。

B Aの観光研究会の調査を元に更に議論を深めた会話を読み、留学生の意見と照らし合わせて問題に答える形式。後半にはピクトグラムを使っていて社会の現実的な問題と関わる内容となっている。

問1 (1) 会話文の空欄に入れるべき文を選択する問題。二重否定の「～ないわけにはいかない」という表現に難解な語句は使われておらず、流れをつかめば正答できる適切な問題である。

(2) (1)同様空欄に合った文を選択する問題。空欄前の“那也不可能满足所有～”を正しく理解し“图案标志”を使う発想につながっていく流れの理解が必要。練られた良問である。

(3) 会話文と内容の一致するものを選ぶ設問。問題としては難解ではないが、速く正確に考える必要がある。

問2 留学生の意見に合致しない対応策を二つ選ぶ設問。留学生の意見、選択肢とも難解な語句はないが、八つの選択肢から「入らないもの」二つを選ぶのは全体をより細かく慎重に考える必要があり、問題全体の量とバランスを考える必要がある。

問3 まとめられた報告書の文章を元に採用されたステッカーを選ぶ問題。文章から得られた情報と考え合わせ、図案を見て思考する必要がある。よく練られた良問である。

第5問 夜遅くまでスマートフォンを使用することで起こる睡眠の質の悪化に関して書かれた文章を読んで、内容理解に関する問いに答える問題である。

問1 空欄に入れる最も適する語を選ぶもので、前の文との因果関係から“結果”を選択できるかを問う基本的で適切な問題である。

問2 スマートフォンの使用と睡眠との関係を論じている流れを理解して“这种生活状态”の指す内容を正しく捉えているかを試す問題であり、適切な問題である。

問3 下線部㊸の内容と一致するものを同段落内から探す力を試す問題で良問である。

問4 ピンインで書かれた文を和訳し、アスペクト助詞を使った表現と「～のに」を表す副詞“却”の意味用法の理解を試す問題であり、良問である。

問5 文脈から「何事もはじめが難しい」という語句が選べるかを試す問題で、日頃から中国語でよく使う表現に慣れているかも解答のポイントとなる適切な問題である。

問6 空欄に入る適語を選ぶ問題で、「部屋の片付けや適度な運動」から一定の疲労感を得られ、空欄以降の状態につながる。前後のつながりや後の文との関係の理解を問う適切な設問である。

問7 中国語を和訳する問題で“伙伴”という基礎的な単語が分かっている“影子”が表している内容を文の流れから正しく理解できれば正答を導き出すことは難しくなく、良問である。

問8 前の段落の内容理解に関する問題で、文章の流れの理解を見る適切な問題である。

問9 スマートフォンとの関わりを比喩的表現で表す問題であり、適切な問題である。

問10 本文全体の内容理解を見る問題で選択肢も含めて良問である。

3 分量・程度

今年度、第5問の量は33文字×33行で約1000字(問題箇所・句読点・改行含む)であり、昨年度追・再試験の共通テスト33字×32行と同等である。速く読み内容を把握する必要がある。基本的な単語で構成されている文章で高校生にとって適切な内容である。第4問も資料や会話、文章が多くなり全体としてはより速く読む力が更に求められている。

本試験同様、追・再試験の設問は、高校生にとって抽象的すぎず難解なレベルのものも多くなく、適切な出題であった。第4問は資料を照らし合わせて考えるのに時間が必要とされたと考えられ、一方、第5問の長文は本試験と同様に高校生にとって身近な話題であった。

4 表現・形式

本試験と同じ形式と配分である。

内容	発音・ピンイン	語句	表現力	複合的な資料の読み取り	長文読解
問題番号	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問
設問数	9	7	7	8	10
配点	36点	32点	28点	52点	52点

5 まとめ(総合的な評価)

総じて、令和6年度追・再試験の問題は、設問形式やその内容において、また単語の選択も高校生レベルの出題が多く、高等学校から中国語を学び始めた受験者を意識した出題者の工夫が感じられた。一つ一つの問題を見ると、丁寧に見れば正答できるものではあるが、文章を正確に読んだ上で複数の資料を見比べなければならず、総合的な量としては限界であろう。

第4問と第5問は同等の難易度にするのは難しいが、問題全体としては本試験と同等のレベルであったと評価できる。

今後とも「高等学校における学習の成果が総合的・客観的に判断できる出題」であることを大前提として、本試験と同レベルの問題作成に当たっていただくことを希望する。

総合的に見て各設問は、高等学校3年間で学ぶ中国語のレベルを考慮しながら、思考力・判断力・表現力等を問うており、評価できる。

受験者数は増加し、外国語の受験状況の割合としても少しずつ増えており、外国語における中国語科目の社会的なニーズの高まりを示していると考えられる。今後も共通テストの科目として有効に活用されることを希望する。全体としてはおおむね適切な問題だった。今後も出題において以下の点に御考慮いただきたい。

- ・ 今年度高得点だった設問を次年度に難易度を極端に上げないようにしていただきたい。
- ・ 第1問の単語の知識を問う問題では、日頃学んでいる見慣れた単語を選んでいただきたい。
- ・ 第4問についても引き続き図表等を効果的に使った問題を期待したい。第5問の文章量は、設問の難易度とのバランスを考慮していただきたい。内容が抽象的すぎないような配慮をお願いしたい。
- ・ 高等学校から中国語学習を始めた生徒たちが「是非受験したい」と思う出題をお願いしたい。
- ・ 今年度の報告書に即して、高等学校における学習の成果が総合的・客観的に判断できる出題を今後ともお願いしたい。